

6月の園庭で

穂高幼稚園 「み～つけた！」

気温が高くなり、水・砂・土遊びが盛んになってきました。砂や土は力を入れると形が変わる、何度でも作り直すことができる魅力的な素材。水を加えてドロドロ、ベタベタ、ザラザラ、シャバシャバ・・・普段味わえないような色々な感触・感覚に触れながら、この時期ならではの遊びをおもいきり楽しむ子どもたちです。

シューッと地面に吹きかけた水が面白い模様になることに気がつきました。



大きな地図ができた！



水を流したいなあ



「たくさん流したい！」
「こぼれないように流したい！」
「速く流したい！」願いはそれぞれ違います。
色々な道具を手に、「こうやったらどうなるかな？」と自分なりの方法を試しています。



地面に大きな水たまりができました。パシャパシャ！
足の裏で、お尻で、手で おもいきり感触を味わっています。



つるつる
滑るよ！
泥すべり台



気持ちいい！！



足まで埋まっちゃったね



「どうやって作ったの？」
泥団子名人が集まって自分の作
った泥団子を見せあっています



泥をビールケースの裏にギュッと押し当てています。
どんな模様になるのかな？！



ほら！メロンパン！



泥でお皿を作るんだ！



ギュギュッと平らにつぶして、真ん中をへこませて・・・
お皿ができました。何を乗せようかな？



パンにドーナツ・・・
沢山のごちそうができました。

水・砂・土へのかかわり方、感じ方はそれぞれ違いますが、「あれ？」「どうして？」「そうか！」「面白い！」と心動かしたり、気づいたり、試したり、考えたりしながら、くり返し遊ぶ姿を大切にしていきたいと思います。